

AKINO FUKU MUSEUM EXHIBITION SCHEDULE

2024.4
2025.3

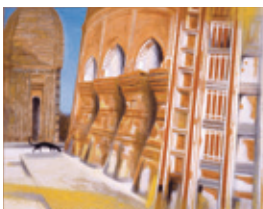
浜松市秋野不矩美術館 展覧会スケジュール



展示作品は変更する場合がございます。

4.2 日 [所蔵品展]
4.14 日
《有為転変》
変化してやまぬ創造の源Ⅰ～流転～

伝統と革新の狭間で、新しい日本画の創造を目指し、様々な絵画団体に籍をおきながらも自己の表現へのあくなき追求を続けた画業に焦点を当て、不矩の創造の源に迫ります。



秋野不矩《テラコッタの寺院》1984年 浜松市秋野不矩美術館蔵

4.27 日 [特別展]
6.23 日
内田あぐり 沓 Fluxes

現代日本画を代表する作家の一人、内田あぐり。生命の躍動を描き出す大作やドローイング作品、川と森に囲まれた当館周辺地域へ取材し描き上げた新作を中心にをご紹介します。 共催：中日新聞東海本社



内田あぐり《分水界》2020年 横須賀美術館蔵

7.2 日 [所蔵品展]
7.21 日
《有為転変》
変化してやまぬ創造の源Ⅱ～脈～

価値観や社会が激しく変化し続ける状況下でも、脈々と流れる変わらぬ人の思い・いのちのつながり、人が創り出す文化に焦点を当て、深化・発展する作品の魅力に迫ります。



秋野不矩《渡河》1992年 浜松市秋野不矩美術館蔵

8.3 日 [特別展]
9.16 日
日本画☆動物園

写実的に描かれた動物作品を一堂に展覧。約20名に及ぶ日本画家がそれぞれの観察眼を活かして描いたリアルな動物たち。犬、猫、鳥などの小動物から動物園の人気者、猿、虎、象など多種の動物が大集合します。

協力：郷さくら美術館 共催：静岡新聞社・静岡放送



西野陽一《森の家族》2006年 郷さくら美術館蔵

10.5 日 [所蔵品展]
11.17 日
《有為転変》
変化してやまぬ創造の源Ⅲ～在～

何気ない風景や見慣れた景色の中から、見落としてはならない価値を顕在化させた不矩の眼差しに焦点を当て、不矩が表現を通して明らかにしたかったものに迫ります。



秋野不矩《土の家(C)》1987年 浜松市秋野不矩美術館蔵

12.3 日 [所蔵品展]
2025 1.13 日
《有為転変》
変化してやまぬ創造の源Ⅳ～理～

(12月29日～1月3日は休館)

同じ状態を留めることがない自然の姿、厳しい環境の中で生き抜く姿を見てきた不矩がたどり着いた世の理とは何か。作品を通して、人間・秋野不矩の表現の根源に迫ります。



秋野不矩《雨雲》1998年 浜松市秋野不矩美術館蔵

2025 1.25 日 [特別展]
3.16 日
秋野不矩と高畑郁子
—インドとの邂逅—

秋野不矩と同じく創画会で活躍した豊橋市の日本画家・高畑郁子。インドとの出会いによって新境地を開いた二人が、それぞれの視点から対照的な色彩で描き出したインド作品などを展示します。

共催：中日新聞東海本社



高畑郁子《ダンサー》1980年 豊橋市美術博物館蔵

2025 3.25 日 [所蔵品展]
《有為転変》
変化してやまぬ創造の源Ⅴ～是空～

不矩の晩年は、可能な限り説明的要素を省き、見えぬもの・形なきものの姿を露にしようとする究極の筆触表現を試みていました。その生き様と表現の到達点に迫ります。



秋野不矩《ティレム人の住居跡》2000年 寄託作品(個人)

4.2-4.14

《有為転変》
変化してやまぬ
創造の源Ⅰ
～流転～

4.27-6.23

内田あぐり 沓 Fluxes

7.2-7.21

《有為転変》
変化してやまぬ
創造の源Ⅱ
～脈～

8.3-9.16

日本画☆動物園

10.5-11.17

《有為転変》
変化してやまぬ創造の源Ⅲ～在～

12.3-1.13

《有為転変》
変化してやまぬ創造の源Ⅳ～理～

※12/29～1/3は休館

1.25-3.16

秋野不矩と高畑郁子
—インドとの邂逅—

3.25-

《有為転変》
変化してやまぬ
創造の源Ⅴ
～是空～

2024 4 Apr.

5 May

6 Jun.

7 Jul.

8 Aug.

9 Sep.

10 Oct.

11 Nov.

12 Dec.

2025 1 Jan.

2 Feb.

3 Mar.